

〔到達目標 修士課程・博士課程の教育内容・方法等〕

高等教育の必要性が増している今日、本研究科の理念に基づき、経済学の豊かな学識を有し社会に貢献できる人物を養成し送り出すことを目標としている。そのためには、博士前期課程と博士後期課程のそれぞれにおいて、院生各自の経験・興味・目的に応じ最も効果的な個別教育ができるような教育環境を提供し、院生同士及び院生と教員間の切磋琢磨を促す環境を整えていくべきと考えている。

〔到達目標 学生の受け入れ〕

学生募集と入学者選抜を適切かつ公正に行う方法を確立及び実施し、また受け入れた学生に対し適切な教育を施すことをめざしている。

〔到達目標 教員組織〕

教員の人事に関わる評価基準は多面的かつ客観的であることとし、任用及び昇任を公正かつ適切に行うためにも、教員相互に自覚をもってこれにあたる必要があると考えている。そのうえで、授業内容の改善をめざし、本研究科所属教員と学内外研究組織に所属する研究者との人的交流を図る等の試みを検討していきたい。

〔到達目標 研究活動と研究環境〕

（この項目は経済学部と経済学研究科の状況を併せて記述することとする。）

本研究科及び経済学部の教育・研究指導の内容をさらに充実させるためにも、教員の研究活動をより一層活性化させるべく研究環境のさらなる整備が必要である。具体的には、施設・設備の整備、予算を含めた研究支援制度の整備、学内外研究者との人的交流の促進を求めていくことが必要と考えている。そして、それらを通して、学生の学修・研究環境の改善へ繋がるものであるようにしたい。